

環境調査結果のお知らせ

概況

本日、環境調査を行いましたので結果を送付いたします。

検鏡の結果、赤潮原因プランクトンであるカレニア・ミキモトイが最大7細胞/ml確認されました。本種は100～1000細胞/mlになると魚類のへい死を引き起こす可能性があります。今後も飼育魚の状態や海色には注意をしてください。

今後、飼育魚や海色等に異常が確認された場合は、海水をペットボトル等で採集し、漁協もしくは宿毛漁業指導所にご連絡下さい。

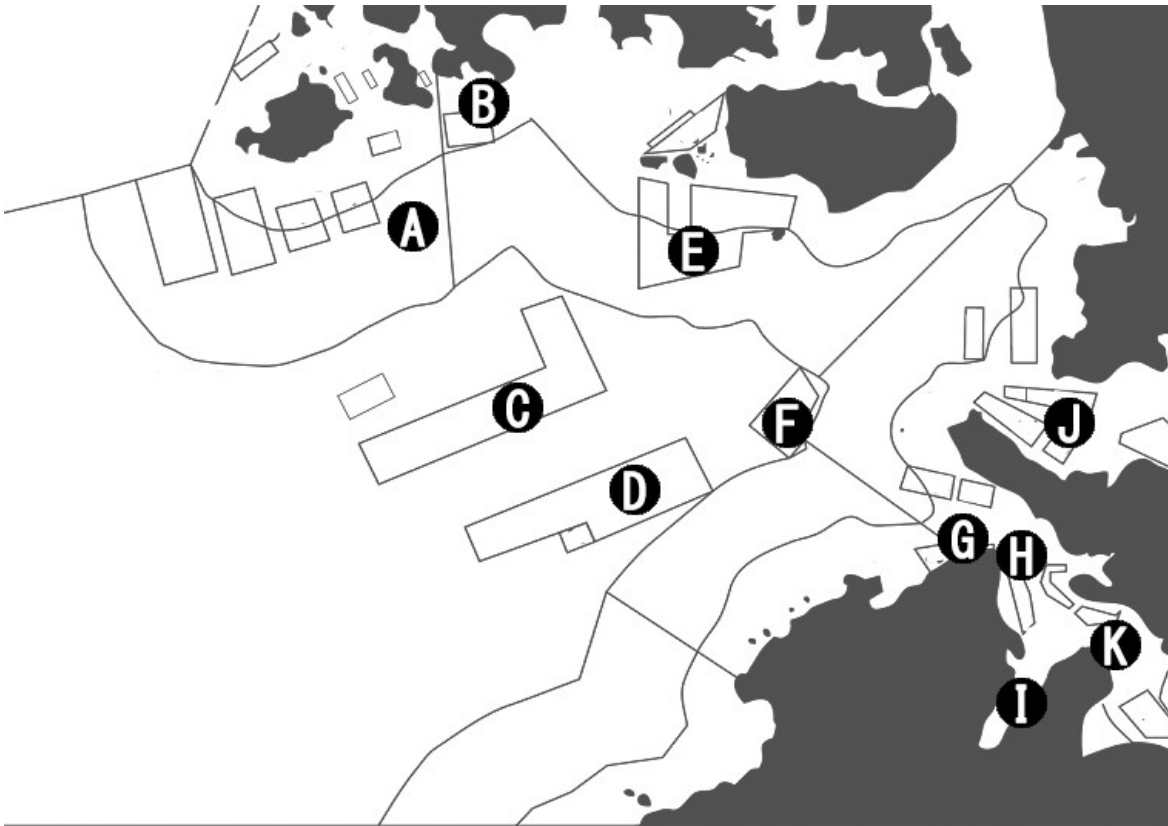
調査点 (透明度/水深) 【調査時刻】	海洋環境				プランクトン	
	深度	水温	塩分	溶存酸素	カレニア・ ミキモトイ	コクロディニウム・ ポリクリコイデス
	(m)	(°C)		(mg/L)		
A 藻津 (11.4m/36.6m) 【09:21】	0	30.0	28.4	6.7	0	0
	5	29.1	32.8	6.6	0	0
	10	28.6	33.0	6.6	1	0
	★ 15	28.2	33.3	6.5	3	0
	20	26.4	33.5	6.5	-	-
B 宇須々木 (10m/27m) 【09:14】	0	29.8	12.1	7.1	0	0
	5	29.1	32.9	6.6	0	0
	10	28.5	33.2	6.7	2	0
	★ 11	28.4	33.2	6.7	7	0
	15	28.1	33.2	6.2	-	-
20	27.1	33.4	6.3	-	-	
C 大島中央 (15m/31.4m) 【09:32】	0	30.3	28.6	6.7	0	0
	5	29.0	32.8	6.6	0	0
	10	28.6	33.0	6.8	0	0
	15	28.1	33.4	6.8	-	-
	★ 17	27.7	33.5	6.6	1	0
20	26.4	33.7	6.6	-	-	
D 小筑紫中央 (16.6m/48.6m) 【09:43】	0	30.5	29.1	6.6	0	0
	5	29.0	32.8	6.6	0	0
	★ 10	28.5	33.0	6.4	3	0
	15	27.6	33.2	5.8	-	-
20	26.8	33.4	6.7	-	-	
E 真珠 (10.4m/31.7m) 【09:00】	0	30.1	23.9	6.8	0	0
	5	29.2	33.0	6.8	0	0
	10	28.8	33.1	6.8	3	0
	15	27.9	33.4	6.8	-	-
	★ 16	26.8	33.6	6.6	4	0
20	25.2	33.7	6.3	-	-	
F シラハエ (13.6m/36.5m) 【09:54】	0	31.4	22.3	6.8	0	0
	5	29.5	32.9	6.7	0	0
	10	28.9	33.1	6.9	4	0
	★ 15	27.9	33.5	6.8	4	0
20	26.4	33.6	6.5	-	-	

調査点 (透明度/水深) 【調査時刻】	海洋環境				プランクトン	
	深度 (m)	水温 (°C)	塩分	溶存酸素 (mg/L)	カレニア・ ミキモトイ	クロロディニウム・ ポリクリコイデス
G 立石 (13m/23.9m) 【10:05】	0	31.5	22.8	6.7	0	0
	5	29.4	33.0	6.4	0	0
	★ 10	28.8	33.2	6.8	4	0
	15	28.3	33.4	7.0	-	-
	20	26.4	33.5	6.3	-	-
H 一切田 (10.2m/21.8m) 【10:29】	0	32.2	21.2	6.8	0	0
	5	29.6	33.0	6.9	1	0
	★ 10	28.8	33.2	7.1	1	0
	15	27.2	33.5	6.8	-	-
	20	25.8	33.7	6.2	-	-
I 栄喜奥 (9.8m/13.7m) 【10:13】	0	31.2	25.5	6.8	0	0
	5	29.5	33.0	6.9	0	0
	★ 10	28.7	33.2	6.6	0	0
J ヒロウラ (8.8m/24.6m) 【10:40】	0	32.2	23.0	6.8	0	0
	5	29.5	33.0	6.7	0	0
	★ 10	28.9	33.1	6.7	2	0
	15	28.0	33.4	6.4	-	-
	20	26.0	33.6	6.3	-	-
K 青瀬山 (8.8m/17m) 【10:21】	0	31.9	21.8	6.8	0	0
	5	29.6	32.9	6.8	0	0
	★ 10	28.6	33.3	6.8	1	0
	15	27.0	33.6	6.4	-	-

クロロフィル量が極大の深度および、0m、5m、10mの深度から採水した海水の検鏡を実施しています。

★：採水したサンプルの内クロロフィルが極大であったもの

こちらの「環境調査」は、高知マリンイノベーション情報発信システム「NABRAS」(URL : <https://kmi-nabras.pref.kochi.lg.jp>)においてもご覧いただけます。



- A: 藻津 E: 真珠 I: 栄喜奥
- B: 宇須々木 F: シラハエ J: ヒロウラ
- C: 大島中央 G: 立石 K: 青瀬山
- D: 小筑紫中央 H: 一切田

参考：有害プランクトンの種類と注意及び警戒基準

有害プランクトン	被害	注意基準 (※1)	警戒基準 (※2)	主な赤潮発生時期 ※3		
				浦ノ内湾	野見湾	宿毛湾
<i>Karenia mikimotoi</i> (カレニア・ミキモトイ)	魚類等のへい死	100 cells/mL	1,000 cells/mL	5~8月	6~8月	—
<i>Chattonella</i> spp. (シャットネラ属)	魚類等のへい死	10 cells/mL	100 cells/mL	6~8月	—	—
<i>Cochlodinium polykrioides</i> (コクロディニウム・ポリクリコイデス)	魚類等のへい死	10 cells/mL	100 cells/mL	—	2~4月	5~6月
<i>Heterosigma akashiwo</i> (ヘテロシグマ・アカシオ)	魚類等のへい死	5,000 cells/mL	50,000 cells/mL	3~12月	4~8月	4~11月
<i>Dictyocha</i> spp. (ディクチオカ属)	魚類等のへい死	—	5,000 cells/mL	6~7月	4月	—
<i>Takayama</i> spp. (タカヤマ属)	魚類等のへい死	—	10,000 cells/mL	8~9月	—	—
<i>Heterocapsa circularisquama</i> (ヘテロカプサ・サーキュラリスカマ)	二枚貝のへい死	—	500 cells/mL	8~11月	—	—
<i>Alexandrium</i> spp. (アレキサンドリウム属)	二枚貝の毒化	10 cells/mL	100 cells/mL	—	1~4月	3~5月
<i>Gymnodinium catenatum</i> (ギムノディニウム・カテナータム)	二枚貝の毒化	—	1 cell/mL	—	—	2~7月

※1 注意基準：餌食いの悪化、警戒基準に達する恐れのある密度

※2 警戒基準：魚類及び二枚貝のへい死並びに二枚貝の毒化が想定される密度

※3 あくまで目安なので、水産試験場・漁業指導所の広報や養殖魚の状態に応じて、慎重な養殖管理をお願いします。